

## 第2期上下水道事業経営委員会（第1回）の主な質疑

【HP版】

平成28年7月6日（水）2時00分～4時00分

上下水道局3階301会議室

質 疑	答 弁
<b>【1 平成27年度決算について】</b>	
<p>A委員      水道料金徴収等業務委託や漏水修理などの民間委託を推進してきているが、今後、設備の維持管理面での委託拡大の方向性は。</p>	<p>上下水道局</p> <p>現在、上下水道施設の維持管理業務委託においては、浄化センター等において部分的に業務委託を行っている。</p> <p>今後、効率的な事業運営を行ううえで、民間企業の優秀な技術の導入が必要と考えている。</p> <p>市民の方々に安定的に水を供給し、適切に水を処理する公営企業としての役割を果たしていくうえで当局が管理する部分と民間委託できる部分をしっかり区分したうえで、委託の拡大を進めていきたい。</p> <p>なお、次期ビジョンには方向性を示してまいります。</p>
<p>A委員      災害への備えと訓練内容は。</p>	<p>上下水道局</p> <p>災害対策として大雨、地震、水質異常など大きく分けて3つある。</p> <p>豪雨等による内水対策については、上下水道統合により職員数が増加するなか、緊急時の配備体制を整えるなど強化がなされている。なお、梅雨時期前にはパトロール箇所の確認や無線交信等の訓練を実施している。</p> <p>地震に対しては、日本水道協会・日本下水道協会の上部団体や他都市との災害時相互応援協定を締結している。ほかにも高岡市管工事業協同組合や水道料金等徴収業務委託先のジェネッツ㈱、下水道管路管理業協会等と災害時における応援協定を結んでいる。</p> <p>地震対応への訓練として、災害対策本部運営訓練をはじめ、若手職員を中心とした基本的な災害対応訓練や新規採用者を対象とした漏水調査や漏水修理等の屋外での訓練、緊急参集メールの受発信の訓練等を実施している。</p> <p>水質事故対応としては、県との連絡体制が整備されているなか、水源から蛇口までのトータル的な水安全計画をまとめている。</p> <p>上下水道局では、地震・水質事故等における緊急時対策マニュアルを整備している。</p>

A委員	<p>ペットボトル「高岡の水」販売を東京等の都会や海外への拡大は。</p> <p>高岡の水道水がおいしく安全であることをアピールし、企業誘致や高岡への移住を促進することに活用できないか。</p> <p>大型客船等への船舶給水の状況は。</p>		<p>「高岡の水」は、水道事業としておいしくて安全な水道水を蛇口から飲んでいただきたいの思いで販売・PRしている。</p> <p>モンドセレクション金賞受賞により取扱い本数が倍増しており、今後も高岡市及び高岡の水道水を広くPRしてまいりたい。</p> <p>現在は、各種イベント等への提供および都市圏のアンテナショップ等に出品し、「高岡の水」をアピールしている。</p> <p>大型船舶への給水は、県内外にも給水拠点があるなかで高岡の水道水が安価でおいしいという点から伏木港で給水補給をしていただいている。停泊時間によるが、1回 500 m<sup>3</sup>～600 m<sup>3</sup>の給水量である。</p> <p>高岡の水道水をアピールするため、「高岡の水」の提供も行っている。</p>
B委員	<p>和田川受水費の負担増の理由と大規模修繕が発生した場合の対応は。</p>	<p>上下水道局</p>	<p>和田川受水費は、精算方式となっており、県和田川水道管理所における維持管理費等の増減によって変動する。</p> <p>前年度の幹事会等で県企業局から翌年度の設備投資や維持管理費等の事業内容が受水団体に示され、受水団体が了承した上で事業が進められている。</p> <p>なお、突発的な大規模修繕については、これまで積み立ててきている修繕引当金で対応することとしている。</p>